



スズキ MRワゴン ニッサン モコ

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難う
ございます。

* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関
しての注意事項等が記載されていますので、装着前に必
ずお読み下さい。

0612/0613

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの障病があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきます。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席に生じた傷、破れ、摩擦、シワ、ヘコミ、変型、変色、化学変化等

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところろに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましては一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属しておりません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこませるように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

運転席座面



- ①初めにシートリフターのハンドルを取り外します。○の中の金具を矢印の方向へ押すと外れます。
(シートリフターのある場合のみ)



- ④背もたれと座面の間にカバーを入れ込んでいきます。



- ②純正シートのラインにカバーを合わせます。



- ⑤④で入れ込んだカバーを、後ろから引き出します。



- ③ラインに合わせたカバーを、座面シート全体にかぶせていきます。



- ⑥カバーには、穴あけ加工をしておりますので、穴の部分①で取り外したシートリフター位置に合わせ、サイド側のカバーをプラスチックカバーの中に入れ込んでいきます。



⑦カバー固定用のヒモを、サイドのプラスチックカバーに入れ込みながら、背もたれと座面の間に通していきます。



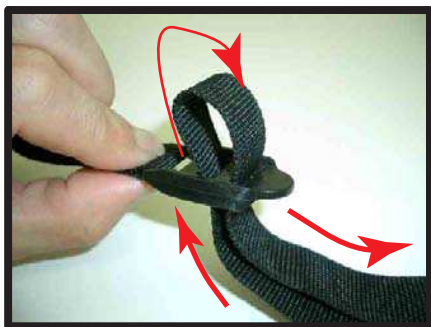
⑩通したヒモを矢印の方向に引くことでカバーの前後を絞り込み固定します。この際力を入れすぎるとベルトが生地を破り外れますのでご注意ください。



⑧片方のヒモで輪を作り、もう片方のヒモをその輪に通します。通したヒモを適度な力で引っ張り結び留めます。*ヒモは強く引きすぎると切れる恐れがあります。ご注意ください



⑪座面背面です。



⑨カバー前後のベルトを固定します。カバー前方のベルトを座面裏、後方から引き出します。ベルトを写真のようにまず真ん中の隙間に通し、次につまみある端の隙間に通します。



⑫座面全体のラインを整えて完成です。

助手席座面



①純正シートのラインにカバーを合わせます。



④カバーを固定するヒモを座面下側のベルトの内側を通して、運転席座面と同じように結びます。



②ラインに合わせたカバーを、シート全体にかぶせていきます。
(全体にかぶせていく際に、強く引っ張りすぎると生地が破れてしまう恐れがあります。)



⑤結んだヒモを写真の場所に固定します。
運転席側同様ベルトを固定します。



③助手席座面を引き上げる際に使用するベルトを、シートカバー中央上部の穴から出します。



⑥座面全体のラインを整えて完成です。

1 列目背もたれ



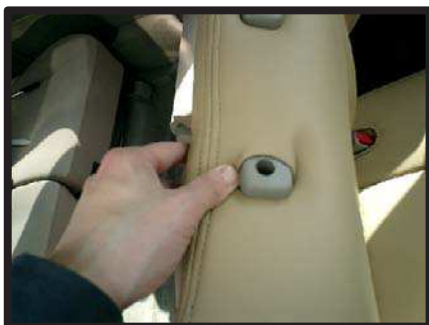
- ①シートカバー装着前に、アームレストを取り外します。
初めに側面の外側に付いているキャップを外します。



- ④かぶせたカバーを、左右均等に引き下げていきます。
この時、カバーのファスナーは開けておきます。



- ②キャップを取り外した場所にナットが付いているので、ソケットレンチで外します。
(ナットの大きさは12mmです)



- ⑤ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横からもぐりこまずように取り出して下さい。無理に入ると破れる恐れがありますのでご注意ください。



- ③アームレストとヘッドレストを取り外した後で、背もたれカバーを写真のように半分位まで裏返した状態でかぶせていきます。



- ⑥マジックテープの付いている部分を背もたれと座面の間に入れ込んでいきます。

1 列目背もたれつづき



⑦⑧で入れ込んだカバーを、後ろから引き出します。



⑩カバー全体のラインを整えて完成です。助手席側も同様の手順で取り付けして下さい。



⑧引き出したカバー部分に付いているマジックテープを、背もたれ後ろに付いているマジックテープ部分に固定します。



⑨ファスナーは最後に閉じます。生地を内側に寄せながら慎重に閉じて下さい。

2列目座面



①純正シートのラインにカバーを合わせます。



④③で入れ込んだカバーを後ろ側から引き出します。



②ラインに合わせたカバーを、シート全体にかぶせていきます。



⑤カバー側面に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。

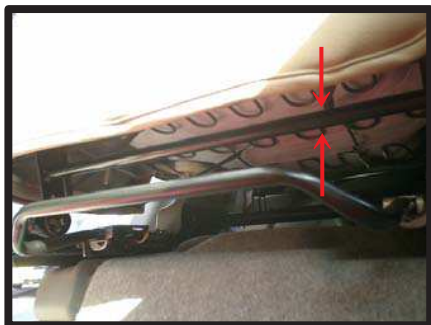


③背もたれと座面の間に、カバーを入れ込みます。



⑥金属フックを取り付けたゴムを座面シートの下に伸ばして、写真のように引っ掛けます。

2列目座面続き



⑦カバー前方のベルトは、座面下の矢印が指している金属バーの上を通して後ろ側から引き出し、④で引き出した生地に付いているバックルに固定します。



⑧座面全体のラインを整えて完成です。助手席側も同様に取り付けて下さい。

2列目背もたれ



①初めに、肩口にあるリクライニング用ノブに付いているネジを、+ドライバーで外し緩めて下さい。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入ると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



②カバーを半分位まで裏返した状態でシートにかぶせていきます。



⑤①でネジを外して緩めていたリクライニング用ノブの下に、カバーを入れ込んでいきます。（無理に入れ込もうとすると、カバーが破れる恐れがあります）



③カバーを左右均等に引き下げていきます。



⑥写真のようにカバーを入れ込み、+ドライバーでネジを取り付けます。

2列目背もたれつづき



⑦背もたれと座面の間に、カバーを入れ込んでいきます。



⑩カバー全体のラインを整えて完成です。
助手席側のシートも同様に取り付けて下さい。



⑧⑦で入れ込んだカバーを、後ろから引き出します。



⑨引き出したカバー部分に付いているマジックテープを、背もたれ後ろに付いているマジックテープ部分に固定します。

アームレスト



①アームレストにカバーを半分位まで裏返した状態でかぶせていきます。



④内側にかぶせた後に、運転席シート本体に取り付けていきます。



②カバーをアームレスト全体に引き下げていきます。



⑤シート本体に取り付け後、カバーをかぶせる前にキャップを付けます。



③②で引き下げたカバーを、アームレストの内側だけ先にかぶせます。



⑥外側のカバーを全体にかぶせていきます。

アームレストつづき



- ⑦カバーを全体にかぶせた後に、ファスナーを閉じていきます。



- ⑧ファスナーを閉じ、カバーを整えて完成です。

ヘッドレスト

(図は他車種です)



- ①ヘッドレストカバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチックの部品が付いているほうが前です。



- ②ヘッドレスト本体を押しつぶしながらカバーに入れ込んでいきます。縫い目の部分に力がかかりすぎるとカバーが破れる恐れがありますので、作業は慎重に行ってください。



- ③ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面の形を整えます。



④平らなプラスチックの付いた部分を内側へ巻き込むように折り返して、カギ状のプラスチックの溝に押し込んでいきます。



(断面図3)
平らなプラスチック部分を押し込んでいくと、写真のように巻き込んだ形になります。



(断面図1)
平らなプラスチック部分を写真のように内側へ折り返します。



⑤プラスチック部分を最後まで入れ込むと図の様になります。



(断面図2)
折り返した部分をカギ状のプラスチック部分に押し込んでいきます。



⑥ヘッドレストをシートに取り付けて完成です。



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまう。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



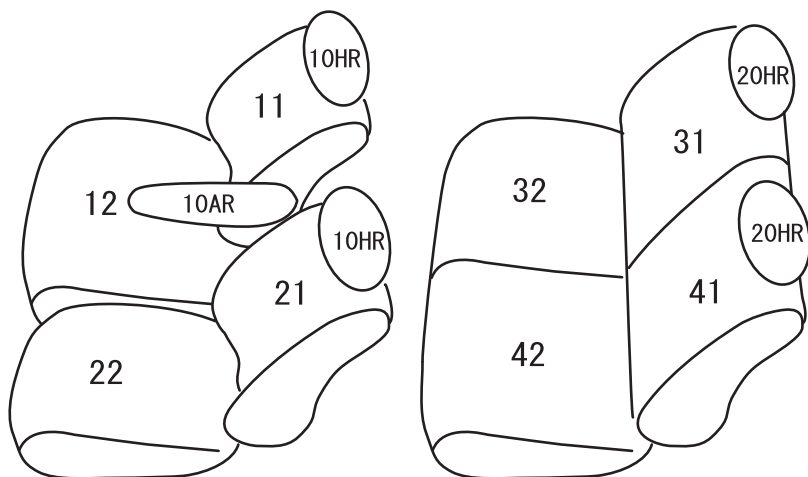
PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

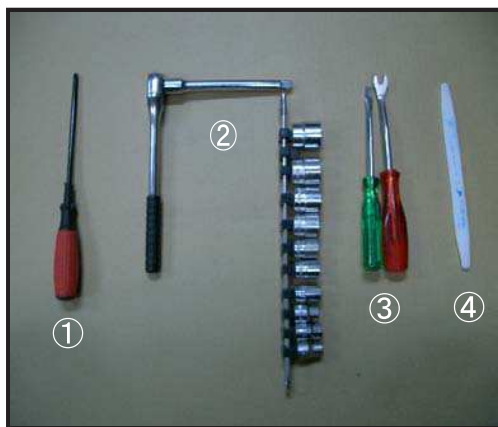
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



本製品シート形状とパーツの名称



取り付け必要工具



工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ードライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ（無くても可）